

大阪府私学教育情報化研究会

平成17年度総会

「携帯電話と学校・家庭」

2005年5月21日（土） 13:00～

大阪府私学教育文化会館



総会次第

司会 川崎 初治（飛翔館中学校・高等学校）

- 会長挨拶（奥田 三郎：大阪国際大和田中・高等学校長）

- 第3回情報関連のミニセミナー（協賛企業によるプレゼン） 13:00～14:00
現場教員に役立つ商品やサービスの紹介
 - ・パイオニア（株）・・・授業における電子情報ボードの活用実践
 - ・イルガラージュ（株）・・・携帯電話の連絡網システム
 - ・日本ベリサイン（株）・・・個人情報に関連した安全電子メール

- 総会 14:00～14:20
議長選出（ ）
議事：
 - ・平成16年度活動報告（池田 竜司：上宮中学校・高等学校）
 - ・平成16年度会計報告（村上 徹：精華高等学校）
 - ・平成16年度会計監査（今井 隆史：明浄学院高等学校）
 - ・平成17年度事業案（池田 竜司：上宮中学校・高等学校）
 - ・平成17年度予算案（村上 徹：精華高等学校）

- 報告 14:20～14:30
教育情報化モデル校制度の設置について
NEW教育とコンピュータ（学習研究社）の連載について

- 講演 「携帯インターネットのメディア特性と問題点、その対策」 14:30～15:30
群馬大学 社会情報学部教授 下田博次先生

- 講演 「情報化社会の中での教師の役割～携帯電話と教育現場～」 15:30～16:20
奈良県立橿原高校 情報科・国語科教諭 小崎誠二先生

- 意見交換会 16:30～17:00
講師の先生方とフロアとで学校における携帯利用の問題について
自由に意見を出しあい各校の現状についての情報交換会

- 閉会の辞（飯田 英佳：四條畷学園中学校・高等学校）

- 懇親会

あいさつ

大阪府私学教育情報化研究会

会長 奥田 三郎

本研究会は、今年20年目を迎えることが出来ました。これも諸先輩方をはじめ私立中学校高等学校連合会、本研究会の役員や大阪私学の先生方のご協力のお陰だと感謝いたします。今後も新しい企画を検討して益々、教職員に役立つ実践的な活動を充実させていく所存ですので、皆様方のご支援をお願い致します。

平成17年度の総会では、「携帯電話と学校・家庭」をテーマに致しました。学校現場で火急の問題となっております携帯電話にまつわる社会問題を未然に防ぐべく教育的指導法の模索と同時に、その教育利用の可能性も含めて変化の時代に対応できる新しい視点を切り拓く必要があります。中高生の携帯利用の実態に詳しいお二人の講師をお招きしております。終了後には、是非フロアからのご意見もお聞かせ下さい。

3年目を迎えた新教科「情報」に加え「総合的な学習の時間」や「表現能力開発（プレゼンテーション）」などを対象分野として、これからも「情報」関連の授業公開キャラバン（4年目）、「ICTプロジェクト・プレゼン甲子園（3年目）」、「産業連携協力情報授業（2年目）」、「大阪私学の情報アンケート（3年目）」、「各種の教員研修」などを精力的に進めて参ります。また「教育の情報化・学校の情報化」に向けた新しい取り組みの一つとして「情報化推進モデル校制度」を導入致します。本年度は、四條畷学園中高校と清教学園中高校を認定します。情報化先進校が、他校の教育情報化推進の一躍を担って頂くことで大阪私学全体の情報活用が進み、生徒達の「表現力」「考える力」「生きる力」が大きく向上することを願ってやみません。活動を支援するために8つの専門プロジェクトを設置しております。先生方の問題解決の糸口として本研究会主催の教員研修会に是非ご参加下さい。

本研究会は、情報教員だけでなく多様な教科の先生方や管理職といった幅広いネットワークを創造することで「情報活用の智恵袋」として参加者が一緒に教育情報の共有化を日常的に行えることを希望しています。

役員の先生方は、頻繁にネットワークや対面でのミーティングを通じて新しい活動の企画・立案・実践を行っております。皆様方も「おおさか私学ネット」のホームページをご覧ください気軽に活動にご参加下さい。（<http://www.osaka-sigaku.net>）

平成17年5月21日



キーワードは『手作り』（清教学園 情報化の特色）

清教学園中・高等学校 ICT コーディネータ

小林 直行

★費用面での効果

本校では 1999 年頃から、校内 LAN の構築を進めてきた。敷設したケーブル総延長は約 2,700m であり、日常約 130 名の職員が居する教員室（中、高職員室、各教科準備室、各校務分掌室、…）の全ユーザ席までケーブルが届いているが、その敷設工事の殆どは本校のスタッフが自前で行なったものである。

LANケーブル 2,700m, RJ-45 プラグ 1,000 個, モール 220m, ケーブル結束材約 3,000 本、…といった資材および、HUB(10, 10/100SW)93 個, IP ルータ 8 個, 無線アクセスポイント 10 個, 無線 LAN カード 40 個, プリントサーバ 35 個, …などの機材、さらに十数機のサーバ用 PC（全機部品から組立てて OS[FreeBSD]をインストールし、基本サービスを設定）のすべてを合わせて過去6年間に支出した実費は約 200 万円である。

また、メール、Web 等の各種基本サービスの他に、成績処理、学籍管理、グループウェア等のアプリケーションも、殆どすべてスタッフの手によるものであり、実支出はほぼゼロである。

このように、端末機を除くあらゆる部分で徹底的な『手作り』をしている結果、通常それに当てられたであろう費用で、生徒および教員用の端末機（主としてノート PC）約 300 機を、大きな負担なく購入することができている。

■参考：1999～2004 年度に国または大阪府より助成を受けた事業（単位は円）

年度	PC(生徒用)	LAN	AV 他(PC, LAN 以外)	事業費	補助	学校支出
1999	14,791,400	2,722,780	20,591,139	38,105,319	19,052,000	19,053,319
LAN 構築方針決定						
2001	0	0	9,227,295	9,227,295	4,613,000	4,614,295
2002	11,403,000	173,880	9,130,995	20,707,875	10,353,000	10,354,875
2003	10,981,530	119,700	322,050	11,423,280	3,793,000	7,630,280
2004	0	0	10,873,800	10,873,800	5,436,000	5,437,800
計	37,175,930	3,016,360	50,145,279	90,337,569	43,247,000	47,090,569

★活動(情報)面での効果

上表で「LAN 構築方針決定」とあるように、2000 年に ICT コーディネータの小林は、

『ネットワークを支えるのは、ケーブルでも機器でもなく、ヒト(ユーザ)である！』

というキャッチフレーズを掲げ、当面、ユーザ・サポートに主眼を置く方針を示した。百数十名のユーザがオンライン・コミュニケーションを円滑に行なえる環境の構築を目指しながら、しかし、その構築のためには、一件々々、一人ひとりに対して、そこへ足を運び、対面で話をすることが極めて重要であるという意識をもっていた。ネットワークの構築そのものがコミュニケーションの深化であった。

2005 年現在、教職員用のメーリングリストサーバには十数個の ML が設けられている。その殆どが、ユーザグループから要求によって開設されてきたものである。さらに、昨年度より稼働中のグループウェア KINO-Communicator(by 木下) の利用も定着・活性化してきている。

『手作り』 続きはこちらへ → <http://www.coba.cc/~chk/seikyo/>
[5/22 URL → <http://www.coba.cc/bq/>]

四條畷学園 IT 化への道



職員室では

学校法人四條畷学園は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学・大学の全校園において、IT化推進をすすめている。全教職員にノートパソコンを貸与し、全教室にデスクトップパソコンを設置した。生徒・教員のITリテラシーの向上と、教員のそれぞれの授業において情報機器を活用したわかりやすい授業を目指します。



教室では

全てのクラスにデスクトップパソコンが配置され、朝終礼の連絡事項や学級日誌は「ラインズキャンパス」というグループウェアを使っています。

IT化する前の職員室の様子



IT化後の職員室の様子



四條畷学園の IT 化への経過、設備、授業風景などは
<http://www.hs.shijonawate-gakuen.ac.jp/user/iida/index.html>
をご覧ください。

平成16年度 大阪府私学教育情報化研究会 収支決算書

収入 406,328 円

支出 405,195 円

差引 1,133 円 (次年度繰越金)

収 入

科 目	本年度決算額 ①	本年度予算額 ②	差 異 ①-②	備 考
1.繰 越 金	2,326	209	2,117	
2.補 助 金	404,000	529,000	▲125,000	
3.分 担 金	0	0	0	
4.寄 附 金	0	0	0	
5.銀 行 利 息	2	0	2	
合 計	406,328	529,209	▲122,881	

支 出

科 目	本年度決算額 ①	本年度予算額 ②	差 異 ①-②	備 考
1.報 償 費	193,800	200,000	▲6,200	
2.旅 費	0	60,000	▲60,000	
3.消 耗 品 費	4,408	10,000	▲5,592	
4.印 刷 製 本 費	0	0	0	
5.会 議 費	25,258	100,000	▲74,742	
6.通 信 運 搬 費	4,790	5,000	▲210	
7.借 上 料	0	10,000	▲10,000	
8.研 修 研 究 事 業 費	0	30,000	▲30,000	
9.研 修 参 加 費	0	10,000	▲10,000	
10.研 究 材 料 費	8,295	50,000	▲41,705	
11.函 書 ・ 器 具 費	168,644	50,000	118,644	
12.分 担 金	0	6,130	▲6,130	
13.そ の 他	0			
合 計	405,195	531,130	▲125,935	

平成16年度 事業実施報告書

実施日			会 の 名 称	会 場 名	参加人員	実 施 内 容 の 概 要	
月	日	曜					
4	3	土	サタデーキャラバン	大阪信愛女学院学習センタ	25	「情報」授業の進め方についての研修	
	9	金	ICT 指導者ミーティング	上宮高等学校	20	ICTプロジェクトの日程調整他	
	10	土	サタデーキャラバン	大阪信愛女学院学習センタ	25	情報リテラシーと教科書の活用方法についての研修	
	16	金	4月役員会	私学会館	20	今年度の目標等の設定他	
	17	土	サタデーキャラバン	大阪信愛女学院学習センタ	25	座学と実習のバランスの取り方についての研修	
	24	土	第1回 ICT プロジェクト	上宮高等学校	23	CM制作等の指導の研修	
	24	土	サタデーキャラバン	大阪信愛女学院学習センタ	18	情報活用能力の育成方法と評価について研修	
5	2	日	21世紀のリテラシーを考える会	ぱ・る・るプラザ京都	5	リテラシーについての研修	
	7	金	5月役員会	私学会館	15	総会準備他	
	8	土	第2回 ICT プロジェクト	上宮高等学校	29	This is Me. の研修	
	8	土	サタデーキャラバン	大阪信愛女学院学習センタ	15	授業計画についての研修	
	22	金	平成16年度総会	私学会館	90	予算、事業実施案承認、講演	
6	2	水	第25回授業公開キャラバン	明浄学院高等学校	30	日本語入力とDTPの基礎の指導	
	11	金	6月役員会	私学会館	14	プロジェクトの取り組みについて他	
	19	土	第3回 ICT プロジェクト	プール学院高等学校	27	舞台上生徒を発表させるための研修	
	25	金	第26回授業公開キャラバン	大阪学院大学高等学校	25	4コマ漫画をルックチャートを使って評価の指導	
7	2	金	第27回授業公開キャラバン	大阪信愛女学院中部部	29	VBBで一作品をクラス全員で英語翻訳の指導	
	11	金	7月役員会	私学会館	9	情報アンケート、10年経験者研修について他	
	17	土	第4回 ICT プロジェクト	大阪信愛女学院短期大学	42	恥ずかしながら人に前でしゃべる指導の研修	
8	19	日	第5回 ICT プロジェクト	羽衣学園高等学校	42	「夏の思い出」1分間プレゼンテーションの指導の研修	
	9	金	9月役員会	私学会館	15	産業協力情報授業について他	
	10	8	金	10月役員会	私学会館	14	プレゼン甲子園について他
10	21	木	産業協力情報授業	精華高等学校	8	世界一のロボット「ViSiON」と制御技術	
	31	日	プレゼン甲子園	大阪学院大学	98	1億円を世のため人のために使うとしたら	
	11	1	月	産業協力情報授業	羽衣学園高等学校	12	「CGアニメ入門」—CGアニメをつくろう—
	11	木	産業協力情報授業	四條畷学園高等学校	13	自分だけの地図作り GISによる情報の利活用	
	19	金	産業協力情報授業	上宮高等学校	32	自分だけの地図作り GISによる情報の利活用	
11	19	金	11月役員会	上宮高等学校	20	冬の研修会の準備他	
	30	火	産業協力情報授業	飛翔館高等学校	6	自分だけの地図作り GISによる情報の利活用	
	12	10	金	12月役員会	私学会館	11	冬の研修会の打合せ他
	18	土	冬の研修会	大阪学院大学	56	教科「情報」ねらいの確認とスキルアップ	
	28	木	第28回授業公開キャラバン	大阪女学院高等学校	32	英語でのプレゼンテーション	
1	3	金	第29回授業公開キャラバン	精華高等学校	15	Flashを使ってマルチメディアを学ぶ	
	28	金	第30回授業公開キャラバン	京都橘高等学校	18	メールの基本、職業調べ	
	28	金	1月役員会	京都橘高等学校	5	春の研究発表大会準備	
2	2	水	臨時役員会	上宮高等学校	6	春の研究発表大会準備	
	18	金	2月役員会	私学会館	10	春の研究発表大会の打合せ他	
3	6	日	春の研究発表大会	四條畷学園高等学校	100	学校の情報化と授業の情報化	
	11	金	3月役員会	私学会館	12	平成16年度決算、平成17年度総会の準備他	

平成17年度 大阪府私学教育情報化研究会 収支予算書

収 入 科 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	差 異 ①-②	備 考
1.繰 越 金	1, 133	209	924	
2.補 助 金	404, 000	529, 000	▲125, 000	
3.分 担 金	0	0		
4.寄 附 金	0	0		
5.銀 行 利 息	1	0	1	
合 計	405, 134	529, 209	▲124, 075	

支 出

科 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	差 異 ①-②	備 考
1.報 償 費	200, 000	200, 000	0	
2.旅 費	30, 000	60, 000	▲30, 000	
3.消 耗 品 費	5, 000	10, 000	▲5, 000	
4.印 刷 製 本 費	0	0	0	
5.会 議 費	30, 000	100, 000	20, 000	
6.通 信 運 搬 費	10, 000	5, 000	5, 000	
7.借 上 料	0	10, 000	▲10, 000	
8.研 修 研 究 事 業 費	0	30, 000	▲30, 000	
9.研 修 参 加 費	0	10, 000	▲10, 000	
10.研 究 材 料 費	30, 134	50, 000	▲19, 866	
11.函 書 ・ 器 具 費	100, 000	50, 000	50, 000	
12.分 担 金	0	0	0	
13.そ の 他		6, 130	▲6, 130	
合 計	405, 134	531, 130	▲125, 996	

平成17年度 事業実施計画書

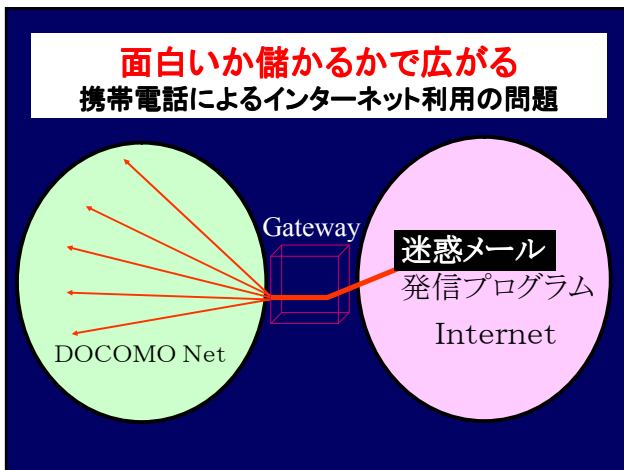
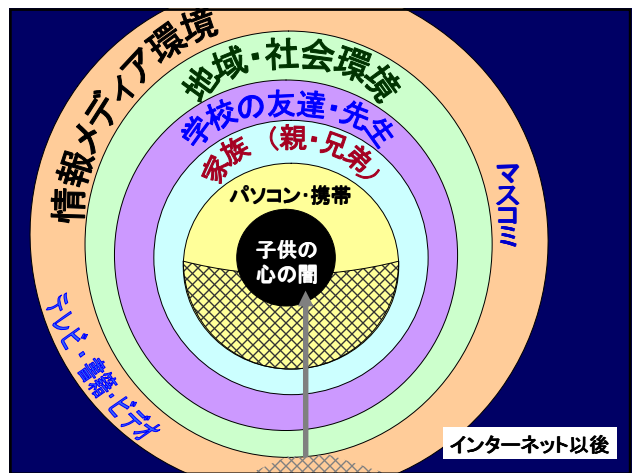
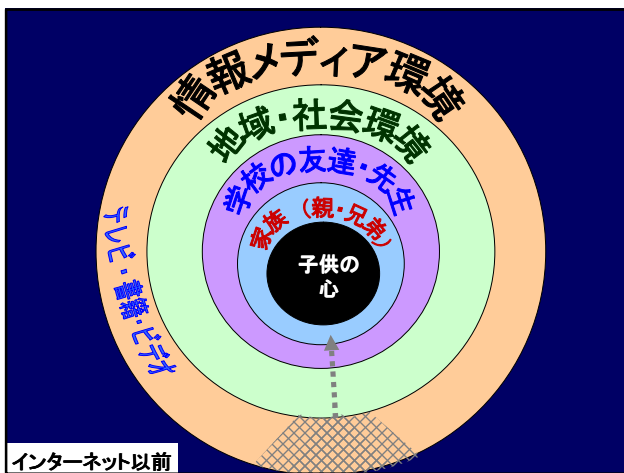
実施予定日			会 の 名 称	会 場 名	参加予 定人員	実 施 内 容 の 概 要
月	日	曜				
4	8	金	4月役員会	私学会館	14	総会の準備等 ICTプロジェクトの日程、内容
	23	土	ICTプロジェクト打合せ	上宮高等学校	22	
5	13	金	5月役員会	私学会館		
	21	土	平成17年度総会	私学会館		
	28	土	第1回ICTプロジェクト	上宮高等学校		
	31	火	第31回授業公開キャラバン	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校		
6	3	金	第32回授業公開キャラバン	産業技術短期大学		
	8	水	第32回授業公開キャラバン	同志社香里高等学校		
		金	6月役員会	私学会館		
	29	水	第34回授業公開キャラバン	長尾谷高等学校 梅田校		
	25	土	第2回ICTプロジェクト			
7		金	7月役員会	私学会館		
	18	月	第3回ICTプロジェクト			
8			夏の教員研修			
	27	土	第4回ICTプロジェクト			
9		金	9月役員会	私学会館		
10		金	10月役員会	私学会館		
	30	日	プレゼン甲子園2005	大阪学院大学		
11		金	11月役員会	私学会館		
12		金	12月役員会	私学会館		
			冬の研修会			
1		金	1月役員会	私学会館		
2		金	2月役員会	私学会館		
3		金	3月役員会	私学会館		
			春の研究発表大会			

授業公開キャラバンの予定

5月31日(火)	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	1学期	啓光学園高等学校
6月3日(金)	産業技術短期大学	2学期	大阪福島女子高等学校
6月8日(水)	同志社香里高等学校	2学期	聖母被昇天中高等学校
6月29日(水)	長尾谷高等学校梅田校	2学期	京都女子高等学校

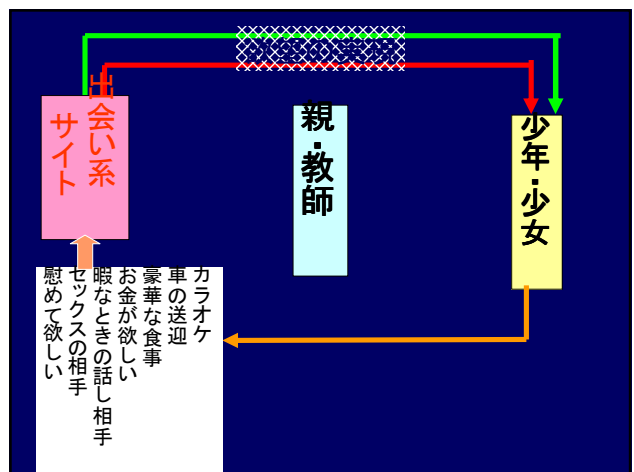
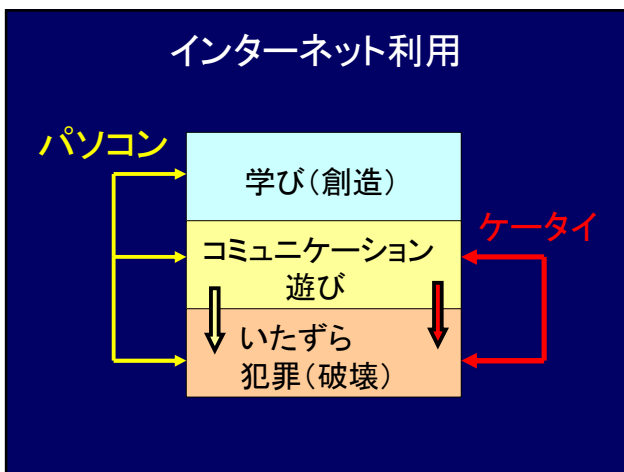
『NEW 教育とコンピュータ』 学習研究社

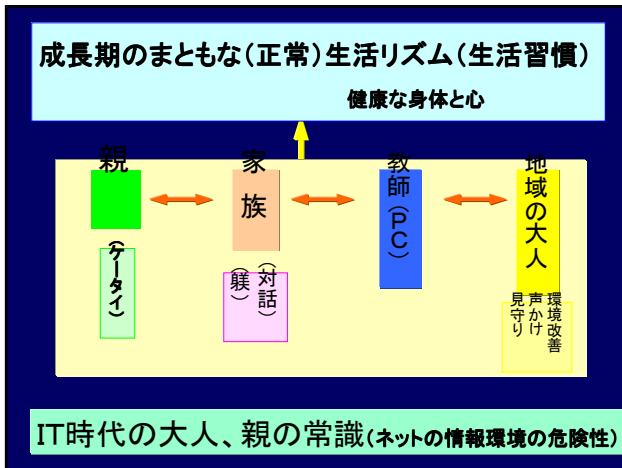
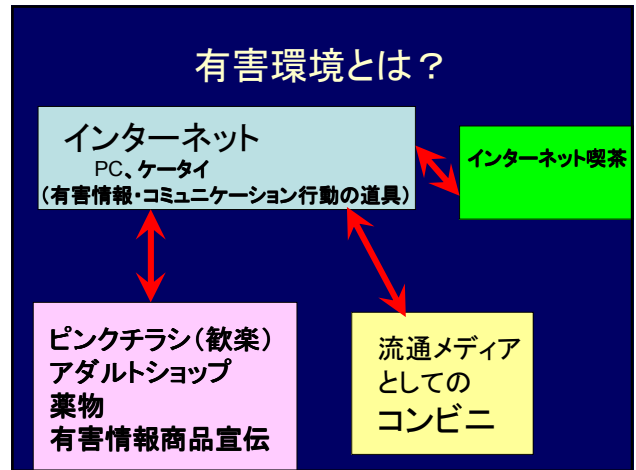
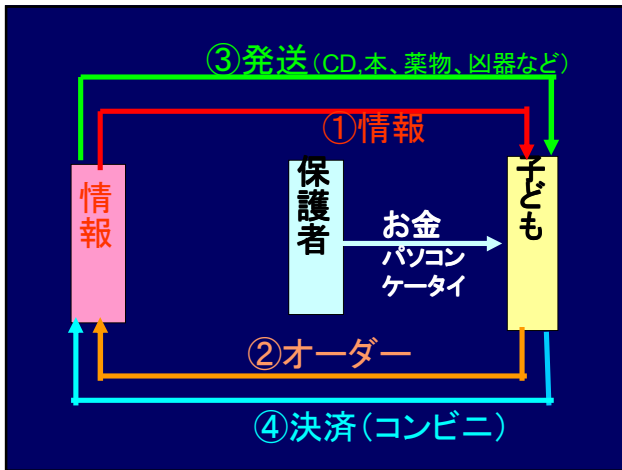
- ・ 7月号 (6月8日発売) ・ 明浄学院高等学校 今井先生
- ・ 8月号 (7月8日発売) ・ 聖母被昇天中学校・高等学校 岡本先生
- ・ 9月号 (8月8日発売) ・ 精華高等学校 村上先生
- ・ 10月号 (9月8日発売) ・ 上宮中学校・高等学校 池田先生
- ・ 11月号 (10月8日発売) ・ 大阪学院大学高等学校 松本先生
- ・ 12月号 (11月8日発売) ・ 羽衣学園中学校・高等学校 米田先生



ケータイの利点・欠点

利点	欠点 (特に子どもには)
-便利で面白い-	-危険な無駄使い-
<ul style="list-style-type: none"> 便利 <ul style="list-style-type: none"> 友達とつながる 友達を増やす (特に異性の友達) 素早い情報入手 面白い <ul style="list-style-type: none"> 発信や自己表現 見知らぬ世界に侵入 いろいろ遊べる ファッション 暇つぶし 退屈しのぎ 	<ul style="list-style-type: none"> 有害情報の流入 ブラックサイトに誘い込まれる (悪意の人・悪い場所) 無駄話にはまる 生活が乱れる (深夜外出・外泊、寝不足など) 危ない人間関係を作る (非行仲間、暴走族など) 中傷やイタズラ 教室での授業妨害 無駄遣い (浪費、金銭感覚の歪み) 危険で違法な買い物





情報化社会の中での教師の役割 ～携帯電話と教育現場～

奈良県立橿原高等学校
情報科・国語科教諭 小崎誠二

平成17年5月21日(土)

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会講演資料

高校生と携帯電話

私たち教員が知りたいこと

- ◆ 教育現場でどう扱うべきか
- ◆ 問題行動・トラブルとの関連
- ◆ 生活や学習への影響
- ◆ 人間関係への影響
 - 所有率・利用率
 - 通話時間・回数・料金
 - 利用内容
 - 通話の相手・利用機会・時間帯



大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

高校生と携帯電話

私たち教員が求めている？結論

- ◆ 教育活動で役立つという実践
- ◆ 実際に起こってしまった問題事例
- ◆ 人間関係が希薄になったという証拠
- ◆ 生活が乱れて情報に溺れている現実

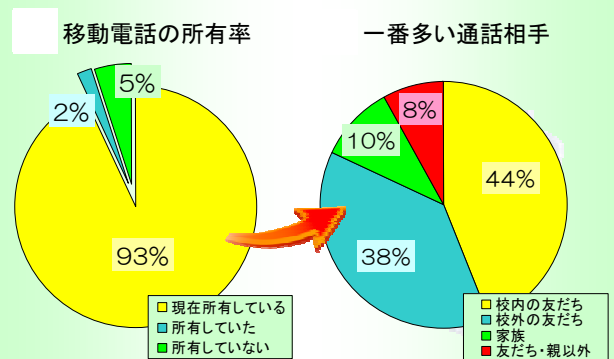
メディアに埋没するのではなく
メディア・リテラシーを育てよう！

私の生徒は？
私の子どもは？

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

高校生調査より

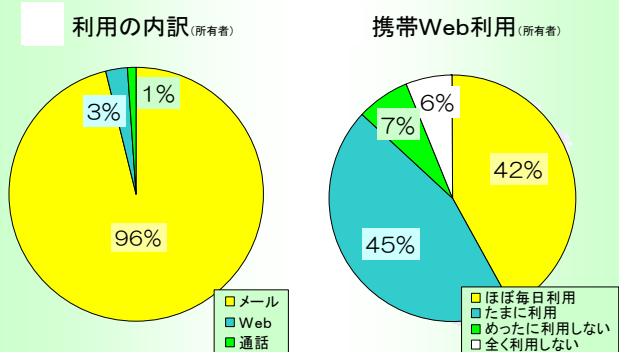
平成15～17年度 奈良県立高等学校2校でのアンケート調査 2642名対象



大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

高校生調査より

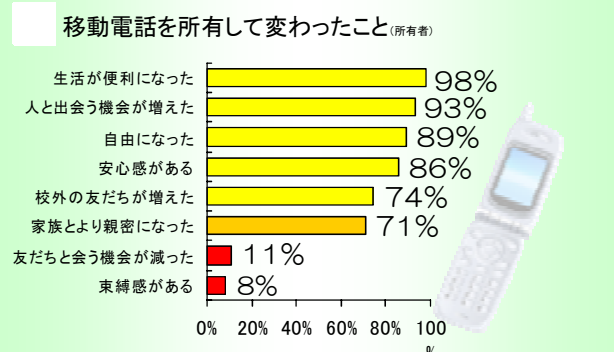
平成15～17年度 奈良県立高等学校2校でのアンケート調査 2642名対象



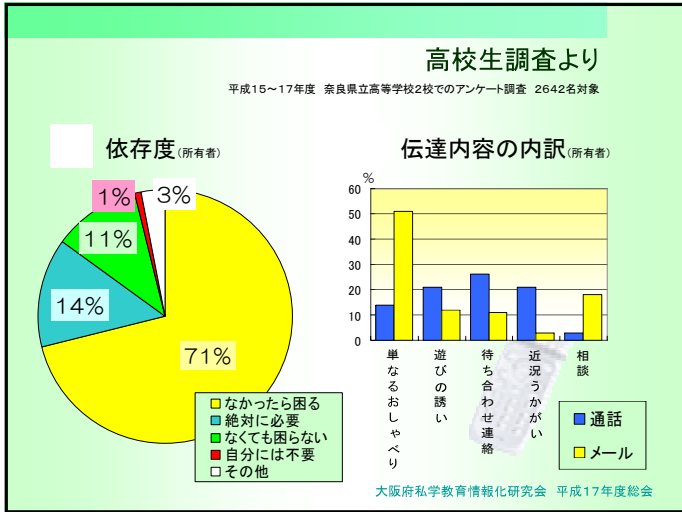
大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

高校生調査より

平成15～17年度 奈良県立高等学校2校でのアンケート調査 2642名対象



大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会



携帯世代のコミュニケーション

- ◆ 利便性を強く感じている
- ◆ 依存している自分を知っている
- ◆ 受信に関しては積極的な選択をしている

初めての人も気軽に番号を教える
知らない人とも気兼ねなく連絡を取りあう

- ◆ メールでは「おしゃべり」も「悩み相談」も
- ◆ 交友の広さ、親密さ、人間関係の深み
- ◆ 仮想の方がより現実的

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

教育現場での有用性

- ◆ コミュニケーションツール
- ◆ 情報収集手段
- ◆ 安全管理
- ◆ カウンセリング
- ◆ モラル&マナー
- ◆ ライフスキル
- ◆ 表現やプライバシーなどの問題解決

生徒の内面・本音を引き出すきっかけ

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

携帯電話利用の問題点の整理

- ◆ 時間とお金
- ◆ コミュニケーション(チャット等)
- ◆ 出会い系サイト
- ◆ アダルトコンテンツ
- ◆ ギャンブル
- ◆ 暴力的情報
- ◆ デジタルデバインド

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

プライバシーと個人情報

◆ 個人情報の保護に関する法律

- ◆ コンプライアンス・プログラムの策定
- ◆ プライバシーと個人情報の違い

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

ユビキタス社会での携帯電話

契約者数

平成17年4月末
出典：社団法人電気通信事業者協会発表

高度通信
センサー
コントローラー
官・民
政治・経済
エンターテインメント

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

教師と生徒と携帯電話

- ◆まず、規制の前に状況把握を
- ◆モラル&マナー教育
- ◆連絡手段
- ◆コミュニケーション・理解の手段
- ◆安全管理
- ◆対人関係の大切さ=心の教育
- ◆誘惑に負けない心を育てる



大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

学校と携帯電話

- ◆生徒の生活実態を把握できる
- ◆便利な連絡手段
- ◆生徒の本音を引き出せる
- ◆モラル&マナー教育のねらいを達成する材料
- ◆登下校の安全確保の手助け
- ◆情報収集を必要とする教育活動で使える
- ◆人間関係でのトラブルを生み出す
- ◆不正行為・違法行為の手引きとなる
- ◆誘惑と出会う場を提供する
- ◆今までになかった新たな問題を発生させる



大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会

情報化社会の中での教師の役割 ～携帯電話と教育現場～

奈良県立橿原高等学校
情報科・国語科教諭 小崎誠二

平成17年5月21日(土)

大阪府私学教育情報化研究会 平成17年度総会講演資料